

にじいろ通信



令和8年1月30日 第10号 札幌市立認定こども園にじいろ

にじいろホームページは

認定こども園にじいろ

で検索してください

新しい年を迎え、1月15日には冬休みを終えた幼稚園児が元気いっぱいに登園しました。久しぶりに顔を合わせ、笑顔がはじける様子に3学期のスタートを改めてうれしく感じました。はじまりの式で干支の話をする、らいおん組さんから「今年は午年！」と声が聞こえてきました。さすが年長組ですね。先生方の生まれ年の干支も聞くことができ、子どもたちの目がきらりと輝いていました。

北海道の冬は子どもたちにとって発見の宝庫です。園庭に広がる雪や氷に触れながら、「冷たい！」「今日の雪はもふもふ～」と、自然の不思議さに心を動かす姿が見られます。これからも雪だるまやかまくらづくり、雪合戦やソリ滑りなど、北海道ならではの雪遊びを思いきり楽しんでほしいと思います。

早いもので今年度も残り2か月となりますが、子どもたちが安心してのびのびと過ごせるよう、保護者の皆様とともに子どもたちの成長を支え、見守りながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。本年もにじいろの園運営にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

園長 横山 小百合

2月の行事予定

毎週金曜日は全クラス対象【絵本貸出日】になっています

3日(火)	節分	18日(水)	誕生会
4日(水)	園医健診(0.1.3.4.5歳)	20日(金)	絵本貸出日(きりん)
5日(木)	にじいろで遊ぼう	25日(水)	お別れ会
6日(金)	絵本貸出日(らいおん)	26日(木)	会計監査②

★クラス懇談会★

10:00～

きりん組 20日(金)
らいおん組 24日(火)
ぱんだ組 27日(金)

16:00～

らっこ組 17日(火)
うさぎ組 19日(木)
こあら組 24日(火)

<お知らせ>

札幌国際大学短期大学部より
2/16～27まで実習生が2名
入ります。

❄️ 冬の絵本紹介 ❄️

外は雪景色、心温まる絵本の時間は大切にしたいですね。
今回は、雪や冬のワクワクする出来事をテーマにした3冊の素敵な絵本をご紹介します。
ぜひ、絵本を手にとってお子さんと一緒に冬の物語を楽しんでみてくださいね。

『ランディーとおおゆきのひ』

さく・え そら
一般社団法人 札幌地区トラック協会

大雪が降った日、ランディーは除雪で大忙し。困ったことに雪置き場は雪でいっぱいになってしまいました。そこでランディーは広場に雪を集め、何かをつくることにしました。何ができあがったのかはぜひ、絵本を読んでみてください！

『ゆきのおじさん』

ありがとう』

作・高島純
ひかりのくに株式会社

ゆきのおじさんに溶けない魔法をかけてもらったゆきだるまはペンギンとおでかけにいきました。冬しか知らないゆきだるまは新しく見るものばかり！たくさんの思い出をつくれたゆきだるまです。

『すすめ！』

ゆきのきゅうじょたい』

文・竹下文子 絵・鈴木まもる
金の星社

雪で動けなくなった車や困っている仲間を助けるために、雪の救助隊が出動！ヘリコプターやクレーン車などいろいろな乗り物やスコップを使い、力を合わせて助け合う様子が描かれています。



雪遊びの様子



園庭や近隣の公園には雪がたくさん積もり、子どもたちも大喜びで遊んでいます。

園庭では雪山でのそり滑りや宝探しゲーム、雪中相撲、雪中かるたなどを楽しんでいます。また、色雪遊びやおうちづくりも盛り上がり、ごっこ遊びに発展しながら楽しむ姿が見られています。

乳児クラスの子どもたちも雪に触れることを喜んでいました。慣れないスノーコンビや手袋に戸惑う姿もありましたが、徐々に慣れ、動きが活発になってきました。幼児クラスの子どもたちにそりをひいてもらったり、一緒に尻滑りをしたりして異年齢で関わる様子もあり、子どもたちの嬉しそうな表情がとても可愛らしいです。



幼児クラスはあけぼの公園に行って雪遊びを楽しんでいます。雪合戦や、築山での尻滑り、米ぞり滑りが特に人気です。園庭の山とは違い、高さがあるのでこぼこしているのも、友達や保育者と一緒にスリルを味わい、繰り返し遊んでいます。園に帰る前には全員が「せーの」の合図で一緒に滑ることも喜んでいました。

これからも今の時期ならではの雪遊びを存分に楽しんでいきたいと思っています。十分に体を動かしながら友達や保育者と様々なアイデアを出し合い、遊びを通した豊かな学びや育ちにつながるよう丁寧に援助していきます。



性教育への取組



にじいろでは毎月、「乳幼児期における性教育」「子どもの人権」について考える園内研修を行っています。日々の保育の中で大切にしたい関わりや子どもたちへの伝え方などの意見を出し合い、共通認識のもと、保育を行っています。先月に続き、今回はこあら組ときりん組の取組をご紹介します。

こあら組

着替えや排泄のときには、子どもたちの大切な体が周りから見えないよう、パーテーションやカーテンを閉めて行っています。

また、「自分でやりたい」という気持ちを大切に、援助が必要なおきでも、すぐに手伝うのではなく、子どもからのサインを待ったり、「お手伝いしてもいいかい？」と声をかけたりして、一人一人の気持ちを聞きとりながら丁寧に関わることを心がけています。

大切な自分の体の部位を知ることができるように、「だいじだいじどこだ？」「おしりがいっぱい」などの絵本に親しみをもちながら楽しんでいます。

最近では、着替えのときに自分でパーテーションを用意しようしたり、トイレに行く際に「閉めてね」と保育者に伝えたりと、子どもが自然と自分の体を大事にしようとする姿が見られるようになってきました。

これからも、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、自分を大切にすることや友達との関わり方などをらせていきます。

きりん組

友達と互いの体に触れてじゃれ合っている姿が見られていたきりん組の子どもたち。友達の体に触ること、自分の体を触らせることについて「いいタッチわるいタッチ」という絵本を使って、子どもたちと一緒に以下のことについて特に考えました。

- ・自分の体は触らせたり、見せたりしないこと。
- ・相手の体は触ったり、見たりしないこと。
- ・自分が“やだ”と思ったら「嫌だ」と伝えてもいいこと。
- ・自分の心も体も、相手の心も体も大切であること。

くすぐり遊びなどもつい楽しくてやり過ぎてしまう遊びですが、触れることで相手はどう思うかを考えながら、遊んでほしいと思います。今後も、自分の体を大切にしようとする気持ちや相手の思いを考える大切さをらせていきます。ご家庭でも是非、お子さんと一緒に考えてみてください。

1月のご意見、ご要望はありませんでした。何かございましたら、いつでもお声掛けください。